

科目分類	専門基礎分野	対象学年	1 年	担当教員の氏名・職名	
授 業 科 目 名	微生物学	学 期	後 期	小林 裕太	
		単 位 数	1		
		時 間 数	30		
目 的 (ねらい)	感染症の原因となる微生物の種類とその特徴、感染症に対する身体の免疫機構、主な感染症の特徴についての基本的な知識を学習し、臨床実践で応用できる基礎学力を身につける。また、現代社会ならびに現在の医療施設における感染制御の実態と現状の課題・対策を知り、医療人として必要な知識を学ぶ。				
目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 微生物の構造と特徴を理解する。 2. 生体の感染防御機構と病原体が感染するという現象を関連づけて理解する。 3. 感染症の検査と診断、治療について理解する。 4. 主な病原微生物の種類と特徴を理解する。 				
授 業 計 画	回数	単元項目	内 容	授業形態	
	1	微生物学の基礎	1	微生物と感染	講義
	2		2	細菌の性質	講義
	3		3	ウイルスの性質	講義
	4		4	真菌の性質／原虫・寄生虫	講義
	5	感染とその防御	1	感染と感染症	講義
	6		2	感染に対する生体防御機構	講義
	7		3	免疫系と免疫関連疾患	講義
	8		4	感染の徴候と症状／滅菌と消毒、	講義
	9		5	感染症の検査と診断／現状と課題	講義
	10		6	感染症の治療	講義
	11		7	感染予防と看護／予防接種	講義
	12	主な病原微生物	1	細菌感染症 1	講義
	13		2	細菌感染症 2	講義
	14		3	真菌・原虫感染症／ウイルス感染症 1	講義
	15		4	ウイルス感染症 2	講義
自己学習に関する指針	体の弱った患者さんの感染を防ぐことは看護学の第一歩です。そのために病原微生物についての基礎知識を身につけましょう。 講義を聞くだけでなく、予習復習を通して総合的な学習を行うこと。				
教科書	系統看護学講座 専門基礎 微生物学 疾病の成り立ちと回復の促進[4] 南嶋洋一・吉田真一・永淵正法 医学書院				
参考文献	「標準微生物学」平松啓一 監修、中込治、神谷茂 編 医学書院				
成績評価	教科書の項目を授業により詳細に解説し、毎回ミニテストにより理解度を確認する。 定期試験により習熟度を総合的に評価するが、5割をミニテストを含む平常点で評価する。				
関連科目					
その他の 通知事項	授業終了後、またはメールで積極的に質問されることを歓迎する。 kobayashiyuta@hotmail.com				